



令和8年9月15日発行

中央検査技術科

知っていますか？ レジオネラ肺炎

レジオネラ肺炎とは？

レジオネラ属菌に感染することで起こる細菌性肺炎です。水回りの環境に生息する菌が、エアロゾル（細かい水しぶき）として空気中に広がり、それを吸い込むことで肺に入り、感染が起こります。

感染源となる場所

- ・温泉
- ・循環式のお風呂（例えば、追い焚き機能付き風呂や24時間風呂など）
- ・エアコンの冷却水

レジオネラ肺炎の症状

<高熱>

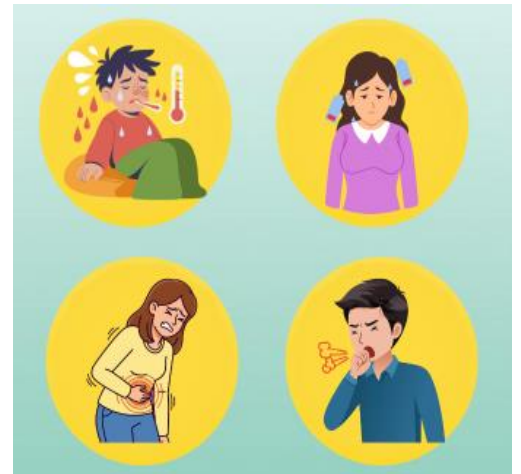
39℃以上の高熱が出ることが多く、急激に悪化するケースもあります。解熱剤で一時的に下がっても、再び上昇することがあります。

<乾いた咳>

痰が少ない乾いた咳がみられることが多いです。初期には咳が目立たず、発熱が先行する場合があります。

<下痢・腹痛>

下痢や腹痛、吐き気などの消化器症状を伴うことがあります。肺炎でありながら胃腸炎のような症状が前面に出ることがある点は重要な特徴です。



家庭での予防方法

加湿器の正しい使い方

家庭用加湿器は、管理が不十分だと菌が繁殖する場所になりかねません。毎日新しい水に交換し、水の継ぎ足しはしないことが基本です。



浴槽の衛生管理

循環式浴槽や追い焚き機能付きの浴槽は、配管内にぬめり（バイオフィーム）が生じると菌が増えやすくなります。浴槽と配管を定期的に洗浄・消毒し、水質管理を徹底することが重要です。

シャワーの管理

しばらく使っていないシャワーや給湯設備は、配管内で菌が増殖している可能性があります。久しぶりに使う際は、十分に放水してから使用しましょう。

定期的な清掃や温水管理を行うことで、
感染リスクを大幅に減少させることができます。